

**ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問
(期間：平成 23 年 12 月 22 日～平成 24 年 1 月 4 日)**

原子力政策の責任の取り方について

○年 齢 : 46歳～50歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 公務員

○都道府県名 : 滋賀県

○ご意見の内容:

福島の人たちおよび、他県でも目に見える見えないを問わず、放射線の被爆・被害に現在及び今後遭われる人たちへの責任を、どう考えて行動しておられるのか、疑問です。被害に遭われた人たちを元に戻すには途方もない金額のお金があるかもしれません。でも、この原子力政策を進めてこられた責任者の国及び会社の役員の方々(従業員ではなく)は、(一般国民の平均した生活ができるぐらいの財産を残し、その他の)自分たちのできうる限りの自身の財産を全て投げ打って賠償に使うのが当たり前だと思います。それでも足りない時に「これが現在の限界です。だから今のところはここまででお許しください。」と言えば、被害者の方々は、例え足りなくてもその誠意をわかってくれると思います。一番大切なのは、精一杯自分たちのしてしまったことをまっすぐに受け止めて反省する気持ちを持つこと、そしてそれを内外に示すことだと思います。子どものけんかと同じです。大人が、大人社会の範たる立場におられる皆さんが示さなくてだれがその姿勢を子どもたちに示すのでしょうか。人の親として、切にそれを願います。

除染と来年4月からの暫定規制値について

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名 : 愛知県

○ご質問の内容:

先に御送りしたメールに間違いがあったので改めてメールします。

食品の暫定規制値が来年4月から低く設定されますが、放射線の国際規制値自体が、冷戦下の核開発の労働者を使用しやすいように日本原子力安全開発機構や各国原子力推進団体などの出資の国際版原子力村のICRPが100ミリシーベルト以下の影響を政策的に考慮しなかったとNHKの「追跡真相ファイル低線量被ばく揺らぐ国際基準」で言っていて、低線量の内部被曝でも癌の危険が有るそうですが、暫定規制値の設定を低くしても癌の危険はありませんか？

ABU賞やプロGRESS賞受賞番組の「ヒバクコク切り捨てられた残留放射線」で放送されていた除染できない残留放射線の影響で癌は増えませんか？